

ひとあし早く浜下りに行ってきました



平成28年4月7日(木)
松田保育園
園長 久高ケイ子
担当 嘉数真由美



さー!!これから出発だ～



海の神様これから、松田保育園ばら組さんが潮干狩りをします。よろしくお祈りしますう～と～と～



園長先生大きな貝を見つけました～



ここに何が隠れているのかなあ～



はりゆうくん何やら見つけました。なかみ見せて～



また、何か見つかったようですね



浜ほうれん草を摘みました。



うると君ゆう君何を見つけたの？



みつけ～



れお君カニを見事に捕まえました～(ハハ)



ヒーピーの浜で小さな恋を発見～



浜下り楽しかった～

明後日の旧暦3月3日には浜下りです。ひと足先にばら組さんが、松田のヒーピーの浜に浜下りに行ってきました。広～い砂浜で大興奮のばら組さんでした。

浜下りの由来・・・

(沖縄県内においては)「海浜に下りて災厄を祓い清める習俗、または旧暦3月3日に御馳走を持って海浜へ行き、潮に手足を浸して不浄を清め、健康を祈願して楽しく遊ぶ行事」とある。沖縄のひな祭り「浜売下り」旧暦の3月3日は、沖縄ではひな祭りに相当する行事である「浜下り(はまうり)」の日です。

ひな祭りでは外出するイメージはそこまで強くないのですが、沖縄の浜下りは大きく異なり、この日は家にはいけない日であるとされているのです。浜下りは文字通り浜、つまり海岸に乗り出すことがメインとなります。旧暦の3月3日は、2日前が新月(旧暦では1日が新月となるため)で、大潮となります。3日は大潮で浜が広がっていて、女の子は白砂を踏んで身を清める日であるとされました。

貝を拾うことにも意味がある浜下りの日には、海岸で遊ぶ以外にも、潮干狩りをしたり貝を拾ったりする習慣があります。確かに、海岸で潮干狩りをしたり貝を拾うことは珍しいことではありませんが、この日は潮干狩りが特に大きな意味を持つのです。ひな祭りではお祝い料理として「はまぐり」や「あさり」などが使われます。これらは、潮干狩りで入手できる食材です。その調達の意味も込めて、浜下り際に潮干狩りや貝拾いが行われるようになったのかもかもしれません。